

マーケットの動き（2026年2月9日～2月13日）

先週の為替市場は、前週末比で米ドルは対円で下落（円高）しました。

8日投開票の衆院選で自民党が歴史的勝利を取めたことを受け、安定した政権運営への期待や、為替介入への警戒感などを背景に、円買いが優勢となりました。さらに、10日に発表された12月の米小売売上高が市場予想を下回り、米経済の減速懸念から米ドル売りが進んだことも円高要因となりました。

ユーロは前週末比、対円・対米ドルで下落しました。

投資環境見通し（2026年2月）

円安の動きとなるも、米ドル、ユーロの円に対する上値はともに限定的

米ドル：日本では財政拡張政策が行われるとの見方を受けた円安圧力は続くと思われます。しかし、これまでの円安が進む場面において、日米通貨当局はすでに警戒感を強めているとみられ、ドルの円に対する上値は限定的とみています。

ユーロ：日本では財政拡張政策が行われるとの見方を受けた円安圧力は続くと思われます。あわせて回復傾向にある域内景気はユーロ高要因とみられますが、ECB（欧州中央銀行）要人がユーロ高のインフレに対する影響を注視する姿勢を強めており、また日米通貨当局がすでに警戒感を強めているとみられることもあり、ユーロの円に対する上値は限定的とみています。

| | 2月13日 | 変動幅（円） | | | |
|-------|--------|--------|-------|-------|-------|
| | | 前週比 | 1カ月前比 | 6カ月前比 | 1年前比 |
| 米ドル/円 | 153.13 | ▲3.72 | ▲5.81 | 5.97 | ▲0.00 |
| ユーロ/円 | 181.45 | ▲3.94 | ▲3.72 | 8.99 | 21.68 |

※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日(休日の場合は前営業日)までとします。

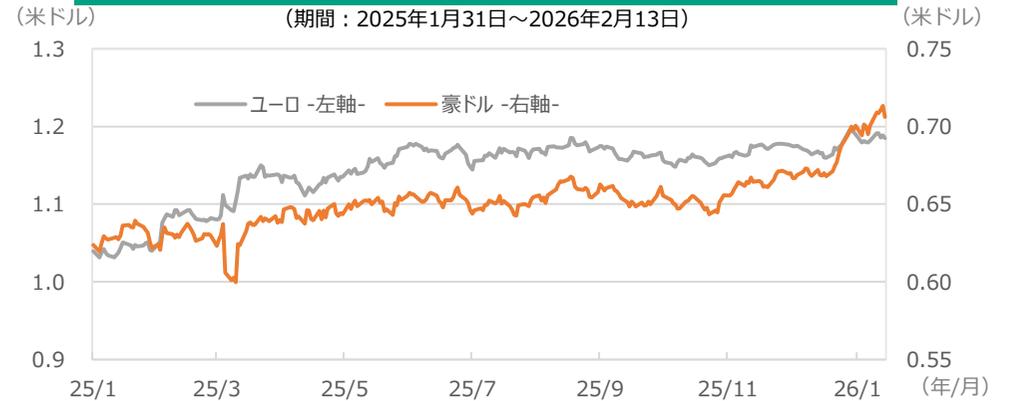
※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202602_outlook.pdf

為替レートの推移（対日本円）



為替レートの推移（対米ドル）



※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>